



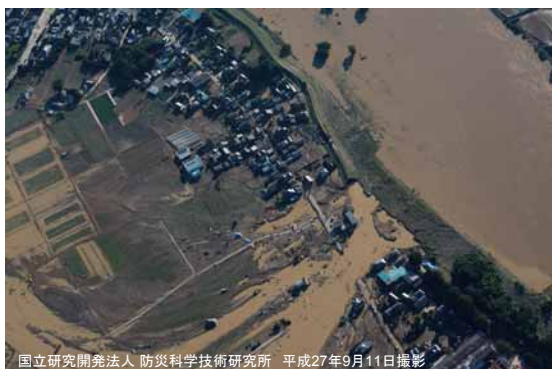
## 2. 「平成27年9月関東・東北豪雨」における常総市への情報支援からみえてきた情報共有・利活用における課題（発災直後の対応）

「発災直後からこれまでの情報支援について」  
研究員 高橋 拓也

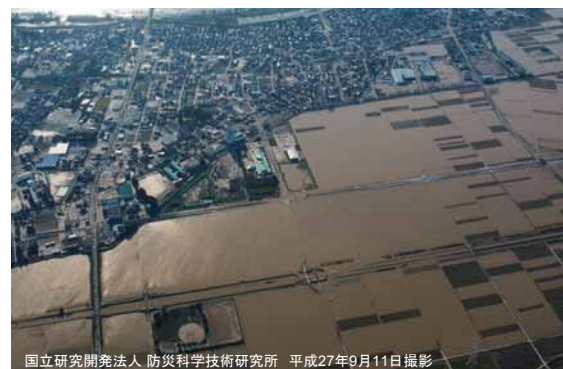
## 1. 被害概要

### ■ 平成27年9月関東・東北豪雨

- » 栃木県で9月6日～10日の累積雨量が600mmを超え、常総市水海道地区において10日未明より鬼怒川の水位が上昇。
- » 9月10日12時50分、常総市美坂町上三坂地区で鬼怒川左岸堤防が決壊し、浸水被害が発生。
- » 被害状況：死者3名、負傷者54名、家屋全壊50棟、家屋半壊3,836棟、床上浸水278棟、床下浸水2,968棟、最大停電戸数約11,120戸、最大断水戸数約11,800戸



上三坂地区決壊地点の様子



常総市浸水状況

※参考：平成27年9月関東・東北豪雨による被害状況等について（平成27年10月5日 内閣府発表）

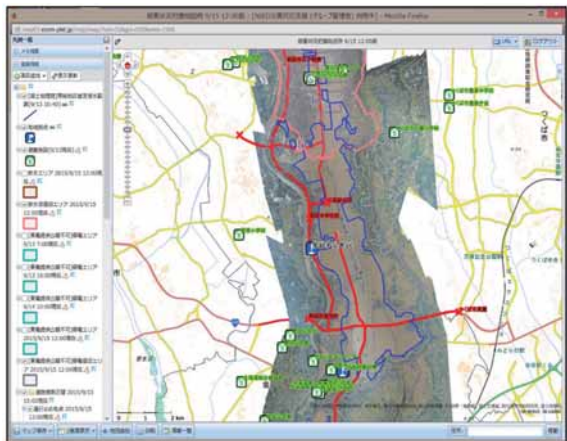
## 2. 常総市支援の背景

- 自治体と災害VC間での情報共有の有効性（白馬村での事例）
  - » 2014年11月22日に発生した長野県神城断層地震を受けて、白馬村役場と災害ボランティアセンター（災害VC）にて情報支援を実施。
  - » 村役場と災害ボランティアセンター間での情報共有が的確な災害対応へとつながる可能性を示唆。
- 常総市での対応支援
  - » 常総市役所での地図作成支援と、災害ボランティアセンターにおける対応支援を行い、情報共有を通じた的確な災害対応の可能性を検証。



## 3. 支援内容（常総市役所）

- 災害対策本部
  - » ライフライン、生活支援に関する情報等の地図作成支援
  - » 作成した地図の一般市民への公開、常総市職員向けeコミマップの提供
  - » 災害対策本部会議、外部機関向け説明資料の作成支援
  - » 被害認定調査・罹災証明書発行業務の支援
  - » 要援護者・要介護者見守り情報管理支援



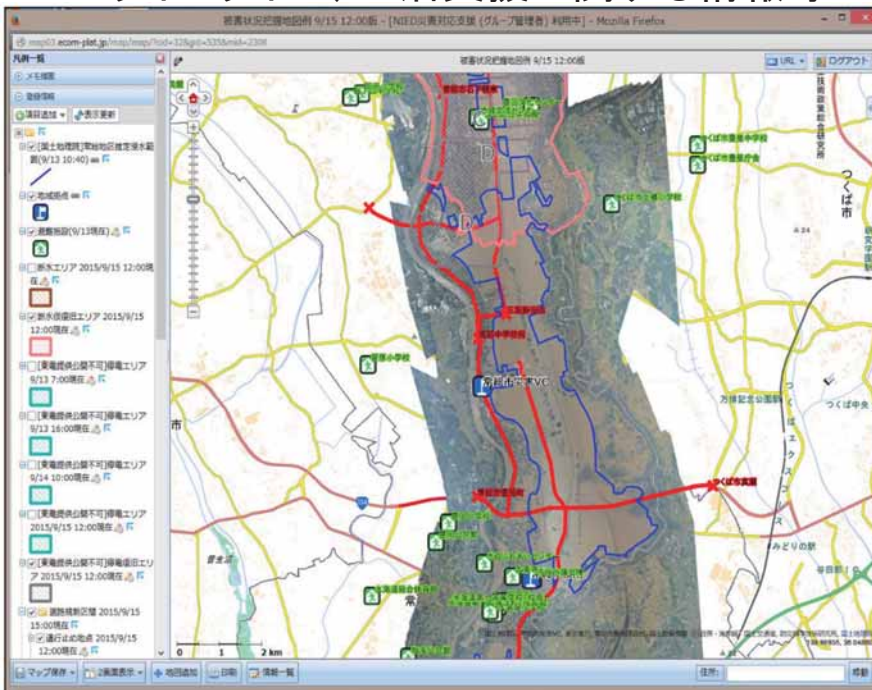
空撮オルソ写真上に道路通行可否情報や上下水道復旧情報、物資支給場所、避難所等を表示した地図情報



浸水エリア、交通規制状況、ライフライン復旧状況の推移を示した外部機関向け説明資料パネル

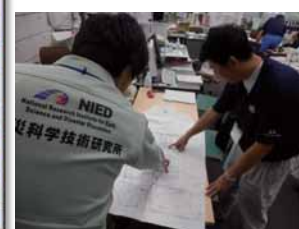
### 3-1. 被害状況、生活支援に関する情報等の地図作成支援

- 文字情報のみの情報共有では全体の状況把握が困難  
⇒ ライフライン、生活支援に関する情報等の地図作成を支援



空撮オルソ写真上に道路通行可否情報や上下水道復旧情報、物資支給場所、避難所等を表示

防災科研による  
災害対応支援の様子



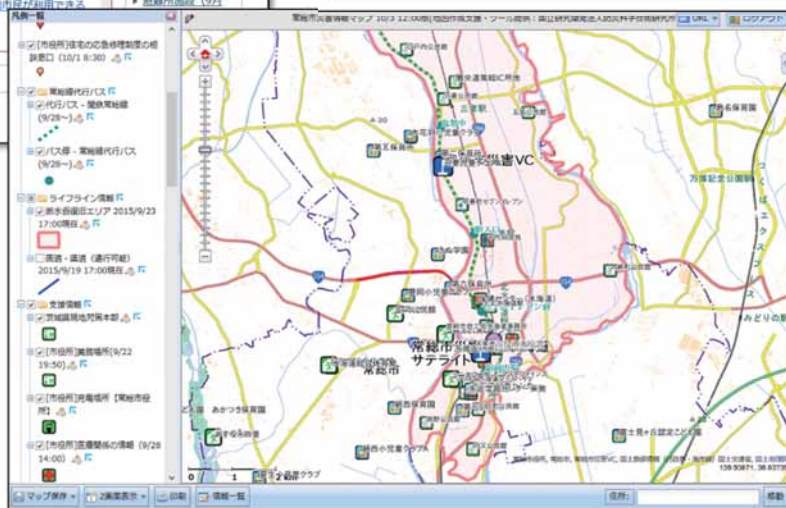
### 3-2. 住民向け常総市災害情報マップの公開



常総市災害情報マップ

12/7現在も更新中

当初は防災科研職員が作成支援を行っていたが、順次技術移転を行い、現在は市職員が直接作成・更新



### 3-3. 災害対策本部会議、外部機関向け説明資料作成支援

- 円滑な災害対応を支援するために防災科研としてできる範囲の支援内容を提案、及び安全安心課からの報告資料作成支援
- 9月下旬以降、内閣府職員や議員対応など、常総市が外部機関対応する際の資料作成支援

#### 災害対策本部会議資料



#### 外部機関向け説明資料パネル



浸水エリア、交通規制状況、ライフライン復旧状況の推移を示したパネル(A1)を提供

### 3-4. 被害認定調査・罹災証明書発行業務支援



- 被害認定調査業務の支援
  - » 税務課において、調査方法や実施計画の策定を支援
  - » 調査に必要な大判地図の作成・印刷
- 罹災証明書発行業務の支援
  - » 一般社団法人協働プラットフォームが常総市の運用にあわせてカスタマイズ・提供したものを活用
  - » 被害調査結果をもとに罹災証明書の発行及び管理を行うための手順の策定と現場作業の支援、税務課の業務フローの整理・調整、業務担当者の要望にあわせた機能の調整等を実施

### 3-5. 要援護者・要介護者見守り情報管理支援

- 高齢福祉課が平時から管理している要援護者情報(個人情報を含まない)を基に、安否確認(被災状況、避難場所、健康状態等)を行いながら支援情報を更新・管理

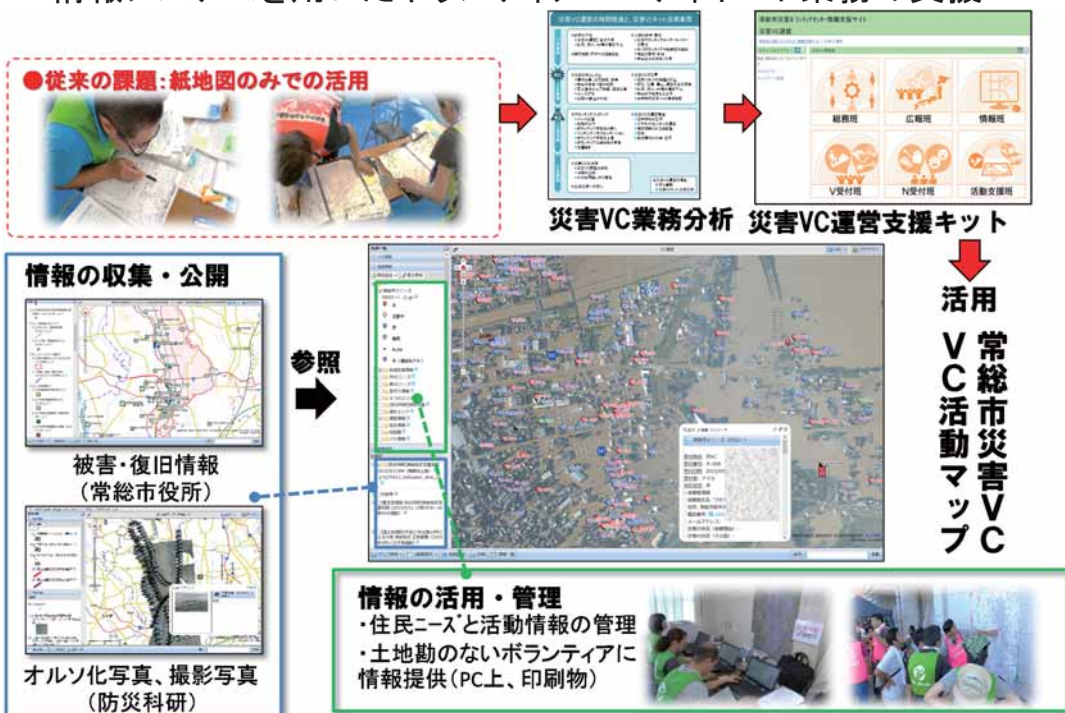


- ≫ 市高齢福祉課の保健師等が対象者訪問の際に当該タブレット端末を持って訪問。
- ≫ 支援は一般社団法人協働プラットフォームと協力しながら実施。



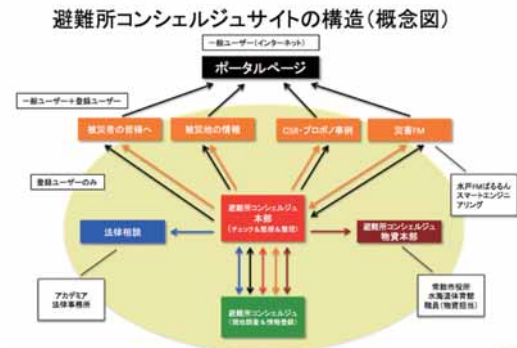
### 4. 支援内容(災害ボランティアセンター)

- 災害ボランティアセンター(災害VC)
  - ≫ 避難所における情報ニーズ・提供支援
  - ≫ 情報システムを用いたボランティアコーディネート業務の支援



## 4-1. 避難所における情報ニーズ・提供支援

- 避難所で生活する被災者が得られる情報が不足
  - » 特に隣接自治体に委託した避難所で顕著
- タブレット端末を持った情報ボランティアを派遣し、被災者からの情報ニーズを収集するとともに、そのニーズに応えた情報提供を実施
  - » 情報ボランティア派遣は「避難所コンシェルジュ」として一般社団法人協働プラットフォームが実施
  - » 防災科研は情報を管理・共有するシステムとして「eコミュニティ・プラットフォーム」を提供するとともに、サイトの企画・構築・運用を支援



### 効果

- » 避難住民への迅速な情報提供による混乱緩和
- » 市外避難所と市内避難所での情報格差の是正
- » 物資本部との連携による支援物資の流通向上

## 5. 常総市への支援を通じて得られた知見

### 市役所の的確な災害対応に向けた課題項目

- 平時からの適切な被害想定
- 各課の役割分担および対応基準
- 隣接自治体、県、国との連携
- 各課、災害VC、外部機関等との情報共有
- 上記を支援する情報システム
- 上記対応の練度向上のための訓練

### 解決方法案

- 災害対応マニュアル等の各種計画の作成とハザードに応じたハード整備
- 外部機関との連絡体制の確立
- 共有する情報の定型化、統一フォーマットの適用
- 地図情報を備えたタスク実施を支援するシステムの活用と平時からの利用
- 各種災害を想定した防災訓練の実施

### 災害VCの的確な災害対応に向けた課題項目

- 平時からの適切な被害想定
- 受援のための各種ボランティア団体、行政機関等との円滑な連携と情報共有
- ボランティアの受付から派遣、ニーズとのマッチング、進捗管理等の効率化
- 上記を支援する情報システム
- 上記対応のための訓練の実施

### 解決方法案

- ボランティアコーディネートに関する業務のシステム化による情報管理の確実性向上と効率化
- 支援団体等との連携関係構築
- 地図情報を備えた情報システム、外部発信可能な情報システムの活用と平時からの利用
- 各種災害を想定した防災訓練の実施

市役所や災害VCが連携および情報共有を行いながら、的確な災害対応を実現するためには、上記課題項目を解決し、災害対策や情報システムへ反映可能な**標準手法・技術**を開発・確立することが重要。

## 6. 参考

### ■ 災害情報集約サイトの構築・公開

- 》 防災科研による調査速報を発信するとともに、この災害に関してWeb上で公開されている各種災害情報を網羅的に集約・整理するサイトを構築・公開 <http://ecom-plat.jp/nied-cr/group.php?gid=10129>



#### <コンテンツ>

- 防災科研による災害調査速報
- 気象関係
- 河川情報
- 洪水はん濫概況
- 空中写真・衛星画像・地図
- 自治体の対応
- 国・省庁の対応
- ライフライン
- ボランティア・救援救護
- 防災情報サイト
- 報道
- 河川基礎情報
- 大雨・洪水の基礎知識等

## Memo